

災害時の交通マネジメントの実施

災害時は、被災箇所の復旧作業を行うとともに、地域経済への影響を早期に軽減するため、通行止め箇所からのう回誘導、う回に伴うボトルネック対策などの交通マネジメントが重要です。こうした災害時の交通マネジメントを実施するために、災害発生時に有識者や道路管理者、警察等からなる検討会を迅速に開催できるよう各府県で体制構築しています。今後は、CCTVカメラや交通ビッグデータを積極的に活用しながら、更に効果的なマネジメントを展開していきます。

尼子山トンネル火災で山陽道が通行止め

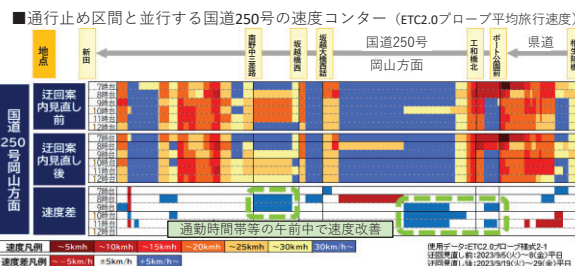
大阪方面：令和5年9月5日～9月11日 岡山方面：9月5日～12月15日



生活道路への交通集中が発生

国道250号等のう回案内の見直し

市街地を通る国道250号において速度低下が発生したため、う回案内の見直しを実施。



中国道・国道2号をう回路として案内することで、国道250号の旅行速度が改善。工和橋北交差点付近で、最大17.8km/hの速度改善。



国道2号 信号現示適正化による混雑対策

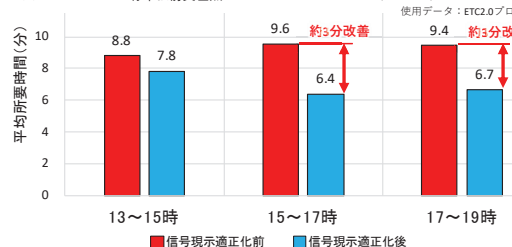
迂回路としての国道2号下り線（岡山方面）のスムーズな交通を確保するため、交差点4箇所信号現示の適正化を実施。

■国道2号の信号現示適正化箇所



信号現示の適正化により国道2号の下り線（岡山方面）の所要時間が最大約3分改善。

■東有年付近の信号現示適正化後の所要時間変化
※国道2号下り線 有年駅前交差点～有年小学校南交差点間（約2.8km）の平均所要時間
使用データ：ETC2.0プローブ



中国道へのう回促進策（アプリクーポン）

スマホアプリを活用し、中国道へのう回利用に対して、1回あたり500円分のポイントを付与。

みちトク 迂回クーポン MICHITOKU UKAI COUPON



3連休等や休日において、アプリクーポン導入前と比較し、山陽道の乗り継ぎ台数が最大19%減少。

